

りっとう 無花果

コンサート 2019

はかりごと

謀

激動の時代に
いちじくは何をみたのか!?



ナポレオン一世



ご入場の方にもれなく
栗東いちじくをプレゼント!



脚 本
中野順哉



ピアノ
塩見 亮



指揮・朗読
高曲伸和



朗読
玉山真衣

管弦楽 ひこね第九オーケストラ

オール・ベートーヴェン・プログラム

第1部；朗読音楽劇「1812年—いちじくの契約」

L.V. ベートーヴェン

ピアノソナタ第8番ハ短調「悲愴」作品13

ピアノソナタ第14番嬰ハ短調「月光」作品27-2

第2部；豪華絢爛 ベートーヴェン最後の協奏曲

ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」作品73

(演奏曲は予告なく変更されることがあります)

スペシャルイベント フルーツ・ヘルシー・ビューティセミナー



試食付き (いちじく・ぶどう・なし等)

時間：午後1時～

会場：小ホール

50名様限定

主催：滋賀県果樹組合連合会

講師：立花 尚子
(野菜ソムリエ上級プロ)

※当コンサートチケット持参で
無料参加できます。

※要事前予約



当日限定いちじくスイーツが集結!



りっとう無花果カフェ・マルシェ

サロン・ド・カフェ アプリ及び
中ホール ホワイエにて



2019年8月11日(日)

開演/午後2時 (開場/午後1時30分)

入場料金：一般2,000円・小中学生1,000円(全席自由席)

会 場：栗東芸術文化会館さくら 中ホール

※未就学児入場不可

お問い合わせ・お申込み：

りっとう無花果コンサート実行委員会

TEL：080-1410-4146 (中井) FAX：077-573-5748

E-mail: apo-musika@crocus.ocn.ne.jp

http://www.ritto-ichijiku-concert.com/

または栗東芸術文化会館さくら (窓口販売)

主催：栗東いちじく生産組合/りっとう無花果コンサート実行委員会

後援：栗東市・栗東市教育委員会・栗東市商工会・栗東市農業委員会

栗東市観光物産協会・栗東市農業協同組合・滋賀県果樹組合連合会

滋賀びわ湖青果株式会社・株式会社バナナハート

協力：株式会社 平和堂・Café Felice(カフェ フェリーチェ)

パティスリー パレット、コンディトライ アキヤマ、プラスエフ

フォレット、サロン・ド・カフェ アプリ

楽譜協力：トヨタミュージックライブラリー

「Story」

ベートーヴェン没後に見つかった三通の手紙。内容は一見、切実な恋を思わせるものであった。しかし、実際はすべてが「暗号」——

「永遠の恋人」というコード。
ナポレオンへの忠誠。
そして「いちじくの契約」。

1812年——ついにベートーヴェンは、世を欺き続けた「謀（はかりごと）」の人生に対し、ひとつの答えにたどり着く。

声優朗読劇「フォアレーゼン」で全国を席巻した中野順哉が世に問う衝撃の音楽劇！！



出演者プロフィール

しおみ たすく
塩見 亮 (ピアノ)

京都市立堀川高等学校音楽科（現京都市立京都堀川音楽高等学校）、東京藝術大学を経て渡独、マンハイム音楽大学大学院研究課程室内楽・歌曲研究科、芸術家育成課程、演奏家育成課程をそれぞれ最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。第47回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部1位。平成19年度平和堂財団芸術奨励賞、平成24年度大津市文化奨励賞、第24回京都芸術祭京都府知事賞ほか受賞多数。ソリストとして国内外のオーケストラと共演、また、室内楽奏者としてTVやFMへの出演、勲青山財団より Trio Rintonare のコンサートに対して2008年度パロックザール賞を受賞するなど、共演者から厚い信頼を得ている。Trio Rintonare、Ensemble Vitra、Duo Schlügelzeug 各メンバー。現在、京都市立芸術大学音楽学部、相愛大学音楽学部、京都市立京都堀川音楽高等学校非常勤講師。

たかまがり のぶかず
高曲 伸和 (指揮・朗読)

同志社高等学校、大阪音楽大学を経て同大学院修了。渡蘭、高名なバリトン歌手マックス・ファン・エグモント氏の元で研鑽を積む。バッハの教会・世俗カンタータ、《マタイ受難曲》、《ヨハネ受難曲》、ヘンデル《メサイア》、シャルパンティエ《テ・デウム》、《真夜中のミサ》、ハイドン《天地創造》、モーツァルト《レクイエム》、ベートーヴェン《交響曲第9番》、フォーレ《レクイエム》などのバリトン・バス独唱を務める。中でも、2014年10月C.P.E. バッハ《マタイ受難曲》のイエス役（於、いずみホール）は音楽之友誌上でも「充実の歌唱」と評を得た。舞台では『フィガロの結婚』フィガロ、『魔笛』弁者、パパゲーノ、『宮廷楽師長』宮廷楽師長、『ヘンゼルとグレーテル』ペーター、『電話』ベン、『こうもり』アイゼンシュタイン、ファルケ、『天国と地獄』ブリュトンなど主要キャストで出演。ブロードウェイミュージカル『二都物語』（新国立劇場・オリックス劇場）主演シンドニー・カートン役では新境地を開拓。一方指揮者としても活動の幅を広げ、バッハ《マタイ受難曲》、《ヨハネ受難曲》、《口短調ミサ》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、《八短調ミサ》など声楽作品を中心に幅広いレパートリーを持つ。2017-2019年 KBS 京都テレビ「おやかまっさん」レギュラーのほか各メディアで演奏や軽妙なトークが放送されている。これまでに玉木康之、蔵田裕行、森池日佐子、新川和孝、田中勉、本山秀毅ら諸氏に師事。アンサンブル・プロット主宰、大阪音楽大学演奏員、日本指揮者協会会員。

たまやま まい
玉山 真衣 (朗読)

大学卒業後、公務員試験に合格するが、突如転身する。現在は日本ナレーション演技研究所の声優養成所に所属中。声優という職業には幼い頃から憧れていたが、アニメ以上に映画の吹き替えに強く興味を持つ。同時に脚本、舞台などの芸術にも独自の感性を発揮し、ステージ製作を全面的にサポートもしている。作家・中野順哉の制作アシスタント。大阪府出身。京都女子大学法学部法学科卒業。

たちばな なおこ
立花 尚子 (野菜ソムリエ上級プロ・ベジフルビューティアドバイザー)

野菜ソムリエ上級プロ。メディア業界に従事。創生期のBSデジタル全体プロモーションや映画製作レーベルの立ち上げなどに携わる。10年滋賀県に移住と同時に野菜ソムリエ取得後、「野菜が主役のフードツーリズム定着の推進」をテーマに地域食材の案内人として、地元生産者と飲食関係者をつなぐプロジェクトに多数参加。プロデューサーからセミナー講師までオールマイティーに活動中。

なかの じゅんや
中野 順哉 (脚本)

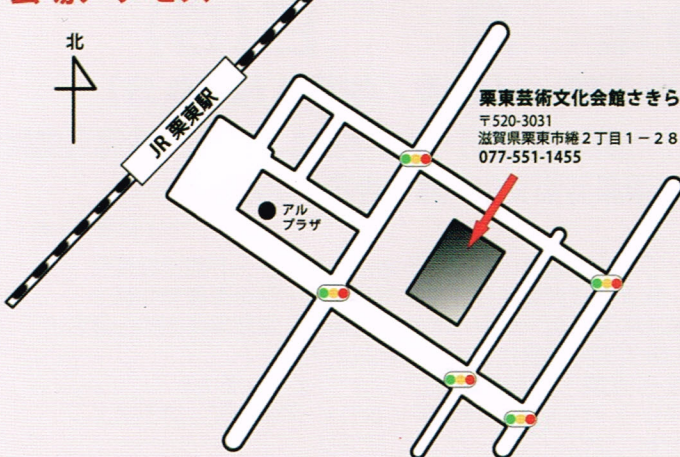
作家。小説を阿部牧郎、浄瑠璃脚本を故・七世鶴澤寛治の各氏に師事。2000年、琵琶湖水質浄化の紙を演奏会のチラシ・プログラムに使用することで年間5000トン以上の湖水を浄化する企画を立ち上げる。2002年より各地の歴史をテーマにした講談を創作し音楽とコラボさせた「音楽絵巻」を上方講釈師・旭堂南左衛門とともにプロデュース。2014年には独自の視点からアナライズした大阪文化論「私の見た大阪文化」を作成し各国総領事館に配布。その論をベースに2015年関西学院大学において社会公運携プロジェクトの講義を行う。参加学生の意見をもとに「Just Osaka」と題した動画をYoutubeに配信。同年より雑誌「新潮45」において「歴史再考」を連載。これまでにない歴史観が物議を醸す。2018年より内閣府参与・原文人の提唱する公益資本主義を題材に、高校生と議論するシンポジウムを立ち上げる。同年よりアニメ声優の朗読劇「フォアレーゼン」をプロデュース。「フォアレーゼン」は日本各地で開催される舞台へと発展している。主著「うたかた」（関西学院大学出版会）。



ひこね第九オーケストラ (管弦楽)

1997年12月21日にひこね市民手作り第九演奏会をきっかけに結成された市民オーケストラ。今までに21回の手づくり第九演奏会、19回のサマーコンサートのほか、16回の子供のためのスプリングコンサートなど、市民オーケストラとして地域の音楽文化の向上のため活発な活動を続けている。2007年11月に多年にわたる音楽活動が高く評価され、平成19年度滋賀県文化奨励賞を受賞。普段の練習から一流の指揮者やトレーナーを迎え、質の高い演奏と音楽づくりを目指している。団員の平均年齢も若く、フレッシュで暖かい雰囲気オーケストラとして地域の絶大な支持を集めている。

会場アクセス



りっとうの果実 いちじく

栗東いちじくは、全生産者がビニールハウスによる雨除け栽培に取り組んでいます。そのため、気象状況の影響が少なく、農薬の使用量も少なくすむため、安全・安心な「栗東いちじく」を皆様にご提供することができます。



お問い合わせは
栗東いちじく生産組合 (JA 栗東市農産課内)
TEL:077-552-0575 FAX:077-552-1018